

元号改元に伴う保安基準適合証等の運用例について (2)

○保安基準適合証、限定保安基準適合証の運用例

令和元年5月1日以降に保適証の交付を行う場合で、従前の保適証を使用する場合
(記載例) 平成表記を二重線等で訂正し、上部等に令和を記入し、令和に即した年月日を記入する。

[保] 保安基準適合証 (控)	
[限] 限定保安基準適合証 (控)	
番号	平成 令和 01年 05月 01日交付
指定自動車整備事業者の氏名又は名称	印
事業場の名称及び所在地	
指定番号	
[保] 次の自動車 次の自動車の整備に係る部分 検査の年月日	が道路運送車両の保安基準に適合していることを証明する。 平成 令和 01年 05月 01日
自動車検査員の氏名	印
自動車登録番号 又は車両番号	
車台番号	
使用者 氏名又は名称	
住所	
乗車定員	人
最大積載量	kg
用途	車両総重量 kg
保険期間	平成 29年 05月 10日から 平成 令和 03年 05月 10日まで
注1. 保安基準適合証の有効期間は、検査の日から15日間とする。 注2. 限定保安基準適合証は、有効な限定自動車検査証とともに提出すること。	

最終の検査申請日	年	月	日
証明書番号	保険会社	保険契約者名	
走行距離計表示値	00 km mile		

邦美印刷株式会社

「平成」を訂正し、「令和」を記載してください。
なお、訂正をしないで用いた場合であっても差し支えありませんが、保適証の3枚目の「**保安基準適合標章(裏)**」は訂正して使用する必要がありますので、訂正のうえご利用頂くことをお勧めします。

訂正印の押印は必要ありません。

保険期間は基本的には自賠責証書の通り記載してください。

元号改元に伴う保安基準適合証等の運用例について (3)

○保安基準適合標章（紙・電子）の運用例

令和元年5月1日以降に保適証の交付を行う場合で、従前の保適証を使用する場合（記載例）平成表記を二重線等で訂正し、上部等に令和を記入し、令和に即した年月日を記入する。

(表)

保安基準適合標章	
令和 平成	01年 05月 01日から
5 月 15 日 まで	
自動車登録番号 又は車両番号	
【注意事項】	
1. 前面ガラスにはり付ける場合には、点検部で折り込みを自動車の前面ガラス内側から見やすいようにするとともに、前面ガラス内側の運転者の視野を妨げない位置にはり付けて下さい。	
2. その他、自動車の運行中その前面に見や	

(裏)

番号	令和 平成	01年 05月 01日交付	
指定自動車整備事業者の氏名又は名称	印		
事業場の名称及び所在地			
次の自動車は道路運送車両の保安基準に適合していることを証明する。			
検査の年月日	令和 平成	01年 05月 01日	
自動車検査員の氏名	印		
自動車登録番号又は車両番号			
車台番号			
使用者	氏名又は名称		
	住所		
乗車定員	人	最大積載量 kg	
用途		車両総重量 kg	
保険期間	平成 29年 05月 10日から	令和 平成	03年 05月 10日 まで

「平成」表記は必ず訂正のうえ、「令和」を記入してください。

※電子の場合であっても当該項目については手書き修正も可。

適合標章の裏面（保安基準適合証の3枚目）についても、「平成」を「令和」に訂正のうえ使用してください。訂正印の押印は必要ありません。